

社団法人 環境科学会 2008 年会
一般講演・シンポジウム・ポスターセッション
プログラム

社団法人 環境科学会

社団法人 環境科学会 2008 年会

日 時： 2008年9月18日（木）～9月19日（金）

会 場： サピアタワー（東京駅八重洲北口）内
関西学院大学・甲南大学・立命館大学の東京キャンパス
〒東京都千代田区丸の内1丁目7-12
http://www.kwansei.ac.ac.jp/Contents_4720_0_10_0_18.html

*エスカレーターにて、3F オフィスロビーにお越しください。

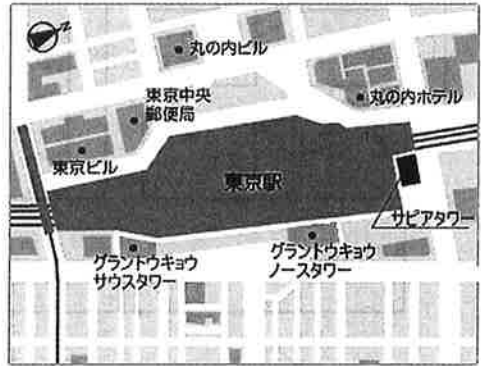
*入館に際し、(社)環境科学会第一受付(3F)にて所属・氏名をお伝えください。入館用ゲストカードの貸与を受け、ゲートを通過後、右手エレベーターにて10F 第二受付へお進みください。

(必ず名刺を2枚以上お持ちください。学生会員は学生証をご提示ください。)

*10F 受付(関西学院大学内)にて、参加登録を行ってください。

*いったん3Fゲートを出られますと、再入館には同一の手続きが必要です。

(入館用ゲストカードは、そのつど必ずお返しください。)



交 通： 東京駅 新幹線日本橋口改札口（徒歩1分）、在来線八重洲北口改札口（徒歩2分）
また、大手町の地下鉄各駅、丸の内ビジネス街から地下通路・地下街を経由してアクセスできます。
(徒歩10分弱) 大手町駅からはB7出口が便利です。

参加費： 正会員 6,000円 準会員 3,000円
非会員 9,000円 非会員学生 5,000円（講演要旨集代を含む）

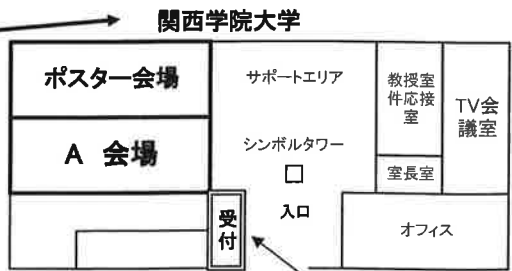
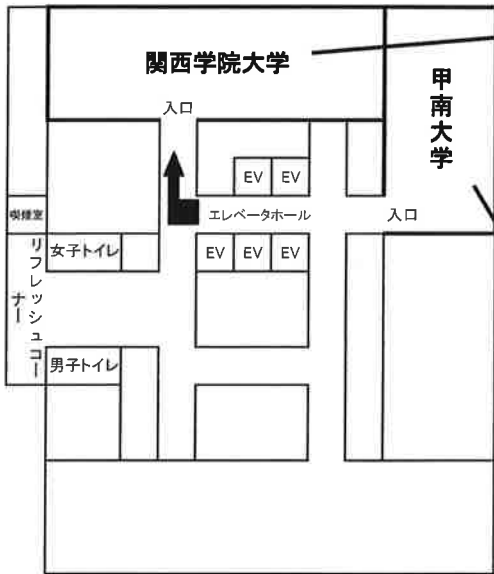
懇親会： 9月18日（木） 18:30～20:30
サピアタワー内 3F レストラン「Papa Milano (パパミラノ)」<http://www.dynac.co.jp>
懇親会費 6,000円（社会人） 3,000円（学生）

お問合せ先： ● 2008 年会 実行委員会
関西学院大学総合政策学部メディア情報学科 松村研究室
〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1
TEL. 079-565-9026 FAX. 079-565-7605
E-mail: any85636@ksc.kwansei.ac.jp
(お問合せはなるべく電子メールでお願いいたします)

● 環境科学会 事務局
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201
TEL. 03-3634-2942 FAX. 03-3634-2943 E-mail: jdzo7103@nifty.ne.jp

会場案内

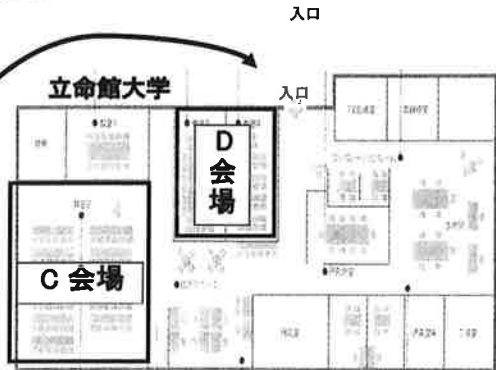
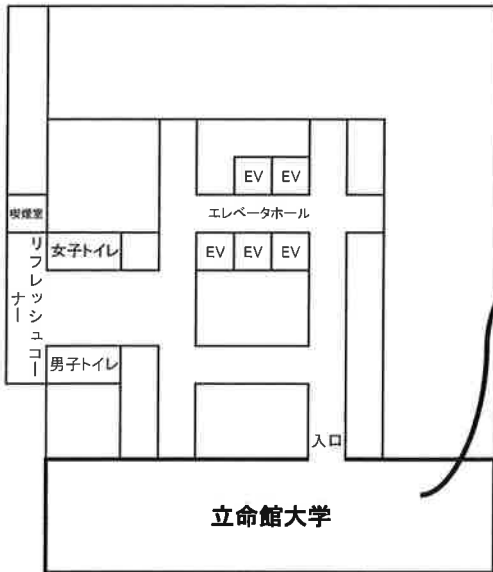
10階 平面図



10F 参加登録を行ってください

第二受付

8階 平面図



発表者の方々へ

1. 参加登録：

一般講演・シンポジウムならびにポスター発表、いずれに関しても、必ず参加登録を行ってください。

2. 発表時間：

一般講演：15分（発表10分、質疑応答及び入れ替え5分）

シンポジウム：主催者の方針によって異なりますので、主催者にお問い合わせください。

ポスター発表：掲示可能期間：9月18日（木）9：15～16：00（今年度は1日のみのスケジュールです）

セッション：9月18日（木）12：30～14：00（発表者の方は、この間はポスター前にお集まりください）

撤去作業時間：9月18日（木）16：00以降、17：00までにお願ひ致します。

3. 発表方法：

一般講演：

- ・PCプロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・今回は原則としてOHPは用意いたしません。
- ・持参のパソコンの接続は、時間の関係でできません。必ずファイルを媒体に入れてご持参下さい。
- ・媒体は、CD-R、USBメモリのいずれかとします。
- ・ソフトはPowerPoint2003/2001のみとします。
- ・PowerPoint2003/2001のファイル名には、必ず発表者の氏名を含めてください。
- ・各セッション開始の遅くとも15分前までに、会場係に媒体をお渡しください。
- ・パソコンへのデータインストールは会場係がお手伝い致しますが、発表時のパソコンの操作は各自で行っていただきます。

シンポジウム：

- ・PCプロジェクタとパソコン（Windows）を用意いたします。
- ・持参のパソコンの接続については、オーガナイザーとご相談下さい。
- ・媒体、ソフトについては、一般講演と同様です。
- ・その他の機器が使われる場合は、オーガナイザーにお問い合わせください。

ポスター：

- ・9月18日（木）の11：00までに所定の場所に掲示して下さい。掲示は9：15から行うことができます。
- ・掲示に必要なマグネット等は事務局で用意いたします。
- ・パネルのサイズは横80cm×縦110cm程度です。
- ・パソコンのデモや配布物用に、机や電源などの掲示板以外の設備が必要な場合は、必ず事前に実行委員会あてにメールでお問い合わせください。なお、ご希望に沿えない場合もありますので、ご了承下さい。
- ・9月18日（木）の17：00までに各自で撤去して下さい。撤去作業は18日の16：00以降にお願ひいたします。
- ・掲示や撤去が規定の時間内に困難な方は、あらかじめ実行委員会にお知らせいただければ、作業の代行をいたします。掲示の代行の場合に、ポスターが複数枚に分かれている場合は、掲示のレイアウトを図示した略図を添付して下さい。撤去したポスターの郵送もいたしますが、封筒と切手は各自でご用意下さい。版の大きなポスターの場合には、郵送用の筒などを各自ご用意の上、会場へご持参下さい。また撤去作業と郵送途中での破損等については、実行委員会では責任を負いかねますので、ご理解をお願ひいたします。

社団法人 環境科学会 2008 年会 プログラム構成

	ポスター会場 10F 関西学院大 (ランバスホール奥)	A 会場 10F 関西学院大 (ランバスホール手前)	B 会場 10F 甲南大 (講義室 B)	C 会場 8F 立命館大 (教室 2)	D 会場 8F 立命館大 (教室 3)
9 月 18 日 (木)	ポスター発表者は、1 日目の11時までにポ スターを掲示してく ださい。(9:15～掲 示可能)	一般講演 (9:15～13:00)	一般講演 (9:15～12:45)	シンポジウム 1 (9:15～11:45) アジア視点の国際生 態リスクマネジメント	シンポジウム 3 (9:15～11:45) 学術賞受賞記念シンポジウム 原沢英夫 奨励賞受賞記念講演 高橋 潔
	掲示期間 11:00～16:00			表 彰 式 (11:45～13:15) 学会賞受賞記念講演 高野健人 原口紘彦 小倉紀雄	
	ポスターセッション 12:30～14:00 の間は、発表者は ポスター前にお集 まりください。				
	16:00以降、17:00 までに、はずして ください。	一般講演 (13:45～17:30)	一般講演 (13:45～16:30)	シンポジウム 2 (14:00～16:30) バイオマス利活用の システム設計と評価	シンポジウム 4 (13:45～16:30) 環境・リスク・経済・ ヒューマンファク ター・社会システム にかかわる科学技術 評価指標の開発－持 続可能型エコトピア 実現に資する指標－
懇親会 (3F) 「Papa Milano (パパミラノ)」 18:30～20:30					
9 月 19 日 (金)	シンポジウム 5 (9:15～12:00) 学術賞受賞記念シンポジウム 花木啓祐		シンポジウム 7 (9:15～12:00) 環境科学と大学の環 境教育の体系化・歴 史・現状・未来 5		
			論文賞受賞記念講演 (12:10～12:35) (山口治子・恒見清孝・ 東海明宏) (12:35～13:00) (丸本幸治・坂田昌弘)		
	シンポジウム 6 (13:45～18:30) 環境科学の到達点と今後		シンポジウム 8 (13:45～16:30) 人間活動の可視化・ グローバルリスクマ ネジメント		

一般講演

第1日目 9月18日(木) 午前

A会場(関学大/ランバスホール) 9:15~13:00

09:15~10:30 重金属汚染の評価

座長: 石橋康弘(長崎総合科学大)

- 1A09-2 9:15 Distribution of arsenic in groundwater of Kathmandu Valley, Nepal
○Saroj K. CHAPAGAIN(山梨大・院・医工), Sangam SHRESTHA(地球環境戦略研究機関), 中村高志, Vishnu P. PANDEY, 風間ふたば(山梨大・院・医工)
- 1A09-3 9:30 ハノイ・Tay湖における重金属類汚染 -空間分布及び汚染源の解析-
○菊地哲郎・田中修三(明星大・アジア環境研究センター), 古市琢磨(三菱化学), Huynh Trung Hai(ハノイ工科大・環境科学技術研)
- 1A09-4 9:45 パーソナルコンピュータ用電子部品に含有される金属元素分析
○中澤克仁, 端谷隆文(富士通研)
- 1A10-1 10:00 大気中六価クロムの測定と健康リスクの評価事例
○柳 一生(横浜国大・院・環境情報), 小林 剛, 三宅祐一(横浜国大・安心センター), 亀屋隆志(横浜国大・院・環境情報)
- 1A10-2 10:15 水俣市における大気浮遊粒子中の水銀の濃度と粒径分布
○丸本幸治, 谷口陽子, 松山明人(国立水俣病総合研究センター)

10:30~11:45 化学物質リスク評価

座長: 丸本幸治(国立水俣病総研)

- 1A10-3 10:30 魚介類摂取と水銀に関する市民意識
○窪田ひろみ((財)電力中央研・環境科学研), 小杉素子((財)電力中央研・社会経済研)
- 1A10-4 10:45 農薬散布時の急性・亜急性・亜慢性毒性を考慮した健康リスク評価方法の検討
○荻戸翔一, 河原賢吾(横浜国大・院・環境情報), 小林 剛, 三宅祐一(横浜国大・安心センター), 亀屋隆志(横浜国大・院・環境情報)
- 1A11-1 11:00 揮発性有機化合物による事業所近傍大気汚染の短期評価手法
○小林 剛(横浜国大・安心センター), 稲葉光亮(横浜国大・院・環境情報), 三宅祐一(横浜国大・安心センター), 亀屋隆志(横浜国大・院・環境情報)
- 1A11-2 11:15 CHARACTERIZATION OF PM_{2.5}, PM_{10-2.5} and PM_{>10} IN AMBIENT AIR, YOKOHAMA, JAPAN
○Khan Md. Firoz(横浜国大・院・環情), 白砂裕一郎, 平野耕一郎(横浜市・環境研), 益永茂樹(横浜国大・院・環情)
- 1A11-3 11:30 生分解性樹脂の加水分解性と加水分解物の生物酸化性の評価
○持丸智英, 奥平祐介, 亀屋隆志(横浜国大・院・環境情報), 小林 剛(横浜国大・安心センター), 堀江 毅, 藤平裕子, 野口 勉(ソニー(株)マテリアル研)

11:45~13:00 汚染除去技術と対策

座長: 小林 剛(横浜国立大)

- 1A11-4 11:45 水環境中からの有害物質の除去・回収を目的としたDNA修飾磁性吸着体の開発
○佐々木隆浩, 田中俊逸(北大・院)
- 1A12-1 12:00 光触媒技術を利用したNO_x低減に関する一考察
○桐谷久恵, 東 千秋, 鈴木基之(放送大・院・政策経営プログラム)
- 1A12-2 12:15 光触媒反応を用いる水相からのヒ素およびセレン化合物の除去
○中島常憲, 高梨啓和, 富永剛弘, 山田健太, 大木 章(鹿児島大・工)
- 1A12-3 12:30 太陽光と光触媒シートを利用した原位置汚染土壌浄化方法の検討

○桐谷久恵, 砂田香矢乃, 磯和俊男, 横山邦雄 (東大・先端研), 橋本和仁 (東大・先端研/東大・院・工)

1A12-4 12:45 循環冷却水中における三大障害抑制のための電解機能水の応用

○中道隆広 (長崎総合科学大・院), 甲斐穂高 (長崎大・院), 篠原孝弘 (㈱ステラ環境科学), 酒井 篤, 石橋康弘 (長崎総合科学大・院)

B会場 (甲南大/講義室 B) 9:15~12:45

9:15~10:30 地球環境保全シナリオ

座長: 新藤純子 (農環研)

1B09-2 9:15 国連「人間」環境会議は「人類」環境会議であった - 「持続可能な開発」の基礎としての「人類の福祉」の意識 -

○宮田春夫 (新潟大)

1B09-3 9:30 地球温暖化問題に関わる科学と政治

○江澤 誠

1B09-4 9:45 低炭素社会に向けたわが国の自家用乗用車のCO₂排出量削減戦略

- 2020年に1990年レベルの50%削減達成の可能性 -

○三科善則 (放送大学・院)

1B10-1 10:00 公共交通機関の有効活用によるCO₂削減の可能性

○田中健太 (横浜国大), 中野牧子 (名古屋大), 馬奈木俊介 (横浜国大)

1B10-2 10:15 IPCC新シナリオに向けたRepresentative Concentration Pathwaysの土地利用シナリオ

○木下嗣基, 石渡佐和子, 山形与志樹 (国環研)

10:30~11:30 バイオマスエネルギーと資源循環

座長: 中野牧子 (名古屋大)

1B10-3 10:30 Economic Growth and Carbon Dioxide Emissions: Use of Energy in OECD Countries

○鶴見哲也, 馬奈木俊介 (横浜国大)

1B10-4 10:45 燃料用バイオエタノールの導入による影響の相互関連評価とエコロジカル・フットプリント指標の適用

○若津宇宙 (東急不動産㈱), 齊藤 修 (早大・高等研), 山本祐吾, 盛岡 通 (大阪大・院・工)

1B11-1 11:00 東アジアにおける作物生産ポテンシャルと窒素負荷への影響の推定

○新藤純子, 岡本勝男 (農業環境技術研), 川島博之 (東大)

1B11-2 11:15 堆肥化及び液肥化による有機性廃棄物の需要バランス解析

- 九州地区を事例として -

○遠藤はる奈, 中村 修 (長崎大・院)

1B11-3 11:30 エネルギー技術とR&Dの因果性分析

○八木迪幸 (横浜国大・院), 馬奈木俊介 (横浜国大・経営)

11:45~13:00 環境インパクト評価モデル

座長: 馬奈木俊介 (横浜国立大)

1B11-4 11:45 環境効用ポテンシャル評価手法の開発

○壺内良太, 兼子洋幸, 渡辺謙一, 小野田弘士, 永田勝也 (早大)

1B12-1 12:00 中国経済の拡大が日本のリサイクル産業に与える影響の評価

- 応用一般均衡モデルによる定量分析 -

○山崎雅人 (上智大・院)

1B12-2 12:15 「持続可能な発展」指標の将来値の推計方法に関する研究

○時松宏治 (エネ総研/産総研), 小杉隆信 (立命館大), 井伊亮太 (パシフィックコンサルタンツ), 村上進亮 (東大・工・システム創成), 安達 毅 (東大・生研), 黒沢

- 厚志 (エネ総研), 伊坪徳宏 (武蔵工大・環境情報), 坂上雅治 (日本福祉大・情報社会科学)
- 1B12-3 12:30 電気分解法を用いた有色畜産排水の脱色技術の LCA 評価
○甲斐穂高 (長崎大・院), 石橋康弘, 中道隆広 (長崎総合科大・院), 川口 勲 (大阪鋼管㈱), 大脇博樹 (長崎県工業技術センター), 武政剛弘 (長崎大・院)
- 1B12-4 12:45 環境学習プログラムの実践と学習効果評価手法の開発
塩田真吾, ○金子幸平, 永田勝也, 小野田弘士, 永井祐二, 井原雄人, 和田翔太, 杉田大亮 (早稲田大学)

第1日目 9月18日(木) 午後

A会場(関学大/ランバスホール) 13:45~17:30

13:45~15:00 大気および環境水汚染の解析

座長: 一ノ瀬俊明 (国立環境研究所)

- 1A13-4 13:45 大気汚染物の硫酸と塩化ナトリウムと立ち枯れの関係
○大森禎子, 吉池雄藏, 岡村 忍 (東邦大・理)
- 1A14-1 14:00 山地渓流水に含まれる溶存化学成分の起源解析 -青森県相馬川の季節変化-
○那須野広太, 鶴見 実 (弘前大・院・理工)
- 1A14-2 14:15 青森県の雪に含まれる炭素の由来 ~炭酸塩と fly-ash~
○村岡貴也, 鶴見 実 (弘前大・院・理工)
- 1A14-3 14:30 ANALYSIS OF WATER RESOURCES SYSTEM FROM THE PERSPECTIVE OF STRESS AND ADAPTATION: A CASE STUDY OF BAGMATI RIVER BASIN, NEPAL
○ Vishnu P. PANDEY, Saroj K. CHAPAGAIN, 中村高志 (山梨大・院・医工), Mukand S. BABEL (アジア工科大), 風間ふたば (山梨大・院・医工)
- 1A14-4 14:45 浅層地下水の硝酸性窒素濃度および窒素同位体比の分布について
~甲府盆地東部における事例~
○中村高志, 長田淑美, CHAPAGAIN Saroj, PANDEY Vishnu, 風間ふたば (山梨大・院・医工)

15:00~16:15 環境生態系変化の解析と対策

座長: 風間ふたば (山梨大学大学院)

- 1A15-1 15:00 伐採を含む森林利用評価と森林への関心
○前川英城 (大谷大), 吉岡崇仁 (京大), 松川太一 (総合地球環境学研)
- 1A15-2 15:15 森林伐採によって引き起こされる流域の環境変化に関する選択型実験
○吉岡崇仁 (京大), 松川太一 (総合地球環境学研), 栗山浩一 (早大), 勝山正則 (総合地球環境学研)
- 1A15-3 15:30 次世代に向けた森林の利用に関する意識調査
-人々にとっての「身近な森林」-
○林 直樹 (総合地球環境学研), 吉岡崇仁 (京大フィールド科学教育研究センター)
- 1A15-4 15:45 植生被覆に伴う流動砂丘群の固定化
○市ノ瀬慎一 (福岡教育大・教育)
- 1A16-1 16:00 自然再生事業とバイオマス利用事業の失敗事例の収集と要因解析
○齊藤 修 (早大・高等研)

16:15~17:30 都市環境の評価と対策

座長: 林 直樹 (地球研)

- 1A16-2 16:15 熱赤外リモートセンシングと1次元熱収支モデルによる都市域の地表面熱収支解析
○平野勇二郎, 稲村 實 (群馬大), 外岡秀行 (茨城大)

- 1A16-3 16:30 都市内大規模河川（ソウル市清溪川）の復元による暑熱環境改善に関する気候学的研究
松本 太（国環研），○原田一平（千葉大・非 / 国環研），白木洋平（地球研），一ノ瀬俊明（国環研 / 名大）
- 1A16-4 16:45 東京都心部に地下水散水を行った場合の気温低減効果
○白木洋平（地球研），平野勇二郎（群馬大），一ノ瀬俊明（国環研 / 名大），松本 太（国環研），滝沢 智（東大）
- 1A17-1 17:00 東京の暑熱緩和のための海洋深層水導水による東京湾海水面冷却事業の検討
○一ノ瀬俊明（国環研 / 名大），鈴木高二朗（港研），鈴木一令（八千代エンジニアリング），清野聡子（東大）
- 1A17-2 17:15 地域別の環境インパクト評価手法
○佐伯 真（㈱インテック），島崎洋一（山梨大・院・医工），片谷教孝（桜美林大）

B会場（甲南大 / 講義室B） 13:45～16:30

13:45～14:45 環境情報と社会システム (1)

座長： 前田恭伸（静岡大）

- 1B13-4 13:45 統合化指標 ELP を応用したライフスタイルアセスメントに関する検討
○村田寿見雄，中村太郎，松尾圭一郎，永井祐二，小野田弘士，永田勝也（早大）
- 1B14-1 14:00 新エネルギー認知度と情報源に関するデータ分析
○島崎洋一（山梨大）
- 1B14-2 14:15 ハイブリッドカーから見る人間社会と環境対策
○鈴木一登（同志社大・院）
- 1B14-3 14:30 教育学（高等教育）研究における日本の大学の環境教育研究レビュー
○内山弘美（東大・院）

14:45～15:30 環境情報と社会システム (2)

座長： 島崎洋一（山梨大）

- 1B14-4 14:45 環境ボランティア獲得の為の情報システムの開発
○前田恭伸（静岡大），井田国宏（中外炉工業），森 保文（国環研），伊藝直哉（インタージ），犬塚裕雅（NPO 法人 CoCoT），浅野敏久（広島大），杉浦正吾（筑波大）
- 1B15-1 15:00 ボランティア参加と時間的および経済的余裕の関係
○森 保文（国環研），森 賢三（インタージ），犬塚裕雅（NPO 法人 CoCoT），前田恭伸（静岡大），浅野敏久（広島大），杉浦正吾（筑波大）
- 1B15-2 15:15 環境基準に関する考察 - 望ましさと達成可能性の相克 -
○山崎邦彦（国立環境研究所）

15:30～16:30 環境社会の情報分析と制度構築

座長： 山崎邦彦（山梨大）

- 1B15-3 15:30 自治体によるディーゼル車規制の経済分析
○岩田和之（上智大 / 日本学術振興会）
- 1B15-4 15:45 本庄市における事故・ヒヤリマップシステムの開発
永田勝也（早大），小野田弘士（早大・環境総合研究センター），切川卓也（早大・院）
○根岸貴紀，大川慶太（早大），鈴木一輝（早大・理工）
- 1B16-1 16:00 リユースカップ（デポジット）制導入条件の検討
○佐藤雄也（中央大・理工），大胡田真樹（元中央大・理工）
- 1B16-2 16:15 自治体廃棄物会計の新たな推計法
- 市町村におけるごみ収集・分別の費用構造分析 -
○碓井健寛（創価大・経済）

企画シンポジウム

(現在調整中のものを含みます)

【 1 日 目 】

シンポジウム 1 9月18日(木) C会場 9:15～11:45

「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」

オーガナイザー 松田裕之 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) 教授

代表者挨拶: 松田裕之 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) 教授

講演者: ①「化学物質の確率論的生態リスク評価とリスク比較」

林 岳彦 (国立環境研究所)

②「化学物質による生態リスクの管理に向けた PFCs の汚染源解明に関する研究」

頭士泰之, 竹田智治, 益永茂樹 (横浜国立大学)

③「亜鉛濃度が河川底生動物群集に及ぼす影響 - 野外調査からの知見 -」

岩崎雄一, 松田裕之 (横浜国立大学)

加賀谷隆 (東京大学)

宮本健一 ((独) 産業技術総合研究所)

④「農薬の生態リスクの評価と管理」

永井孝志 ((独) 農業環境技術研究所)

⑤「化学物質の順応的管理について」

加茂将史, 内藤 航 ((独) 産業技術総合研究所)

ディスカッション:

総 括:

シンポジウム 2 9月18日(木) C会場 14:00～16:30

「バイオマス利活用のシステム設計と評価」

オーガナイザー 藤江幸一 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) 教授

代表者挨拶: 藤江幸一 (横浜国立大学大学院環境情報研究院) 教授

第 1 部: バイオマスタウンにおけるバイオマス利活用システムと評価

①「持続可能なバイオマスタウンの設計・評価手法」

迫田章義, 望月和博 (東京大学生産技術研究所)

下ヶ橋雅樹 (東京農工大学大学院工学府)

近藤弘章 (いであ株)

②「資源作物生産特性の要素変換技術データベース化」

清水夏樹, 柚山義人 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)

③「木質ペレット生産・利用の最適化シミュレータの開発」

高梨啓和, 佐潟輝洋, 中島常憲, 大木 章, 甲斐敬美,

筒井俊雄 (鹿児島大学工学部), 寺岡行雄 (鹿児島大学農学部)

近藤弘章 (いであ株)

④「地域完結型地燃料システム」

望月和博 (東京大学生産技術研究所), 五十嵐泰夫, 石倉善郎 (東京大

学大学院), 高山光弘 (㈱総合環境研究所)

第 2 部: プランテーションにおけるバイオマス利活用システムと評価

①「熱帯プランテーションにおける物質・エネルギー収支解析と評価」

蒲原弘継, 後藤尚弘 (豊橋技術科学大学),

藤江幸一 (横浜国立大学)

- ②「バイオマス・ネットワーク設計プログラムソフト」
橋 隆一, 藤江幸一 (横浜国立大学), 熱田洋一, アヌグラ・
ウディヤント, 後藤尚弘 (豊橋技術科学大学), 荒川正幹,
船津公人 (東京大学大学院)
- ③「早生樹による熱帯産業植林地の持続性」
藤間 剛, 山本幸一 ((独) 森林総合研究所),
後藤忠男 ((独) 国際農林水産業研究センター)
- ④「バイオ燃料の拡大と土地改変にともなう生態リスク問題」
嘉田良平 (横浜国立大学大学院)

総合討論:

シンポジウム3 9月18日(木) D会場 9:15~11:45

学術賞受賞記念シンポジウム

「地球温暖化の科学的アセスメント ~IPCCの過去・現在・未来~」

オーガナイザー 原沢英夫 (内閣府政策統括官付参事官 (環境・エネルギー担当))

代表者挨拶: 原沢英夫 (内閣府政策統括官付参事官 (環境・エネルギー担当))

講演者: ①「IPCCの過去・現在 ~第4次報告書の意義~」

原沢英夫 (内閣府) 参事官

②「IPCC: 温暖化影響の予測とその軽減に向けた対策」

※本講演は「奨励賞受賞記念講演」を兼ねる。

高橋 潔 ((独) 国立環境研究所) 主任研究員

③「IPCCと国際対応」

亀山康子 ((独) 国立環境研究所) 主任研究員

パネルディスカッション: 「IPCCの今後と日本の役割」

司会 増井利彦 ((独) 国立環境研究所) 室長

シンポジウム4 9月18日(木) D会場 13:45~16:30

「環境・リスク・経済・ヒューマンファクター・社会システムにかかわる科学技術評価指標の開発
—持続可能型エコトピア実現に資する指標—」

オーガナイザー 片山新太 (名古屋大学エコトピア科学研究所) 教授

司会進行: 名古屋大学エコトピア科学研究所 研究員 伊東英幸

代表者挨拶: 片山新太 (名古屋大学エコトピア科学研究所) 教授

講演: ①「LCA, LCC, MFAの共通ツールとしての混合産業連関分析手法」

中村慎一郎 (早稲田大学) 教授

②「環境影響評価手法LIMEにおける環境指標とその特徴」

伊坪徳宏 (武蔵工業大学) 准教授

③「エコロジカル・フットプリント分析における効率性と公平性」

中野 桂 (滋賀大学) 准教授

④「エコトピア実現を評価するための指標構築」(両講演終了後に質疑5分)

*エコトピア実現に資する指標の構築に向けて

林 希一郎 (名古屋大学エコトピア科学研究所) 准教授

伊東英幸 (名古屋大学エコトピア科学研究所) 研究員

*ヒトおよび社会の要因に関する研究

古賀一男 (名古屋大学エコトピア科学研究所) 教授

パネルディスカッション: (40分)

【パネル議題】①ヒューマンファクターの導入方法について

②指標の統合化について

コーディネーター：田原 謙（名古屋大学エコトピア科学研究所）教授
パネリスト：中村愼一郎，伊坪徳宏，中野 桂，林 希一郎，古賀一男
総 括：田原 謙

【 2日目 】

シンポジウム5 9月19日（金）A会場 9：15～12：00

学術賞受賞記念シンポジウム

「低炭素都市に向けた多面的アプローチ」

オーガナイザー 花木啓祐（東京大学大学院工学系研究科）教授

イントロダクション：「低炭素都市実現のための戦略」

花木啓祐（東京大学）教授

講演者：①「日本低炭素社会シナリオ構築と都市の役割」

藤野純一（国立環境研究所）主任研究員

②「GISを用いた分散型エネルギーシステムの街区導入評価と日本全体への適用」

森 俊介（東京理科大学）教授

③「都市静脈系施設における温室効果ガス削減」

荒巻俊也（東洋大学）教授

④「低炭素社会のための都市計画のあり方」

村木美貴（千葉大学）准教授

⑤「ヒートアイランド軽減とそのフィードバック」

一ノ瀬俊明（国立環境研究所）主任研究員

シンポジウム6 9月19日（金）A会場 13：45～18：30

「環境科学の到達点と今後」

オーガナイザー 馬奈木俊介（横浜国立大学経営学部）准教授

代表者挨拶：馬奈木俊介（横浜国立大学経営学部）准教授

講演者：①「環境経済学の到達点と今後」

馬奈木俊介（横浜国立大学）准教授

②「環境システム分析の到達点と今後」

荒巻俊也（東洋大学）教授

③「ライフサイクル評価学の到達点と今後」

松本 亨（北九州市立大学）教授

④「3R／廃棄物分析の到達点と今後」

田崎智宏（国立環境研究所）主任研究員

⑤「国際関係学の到達点と今後」

亀山康子（国立環境研究所）主任研究員

⑥「地球環境モデリングの到達点と今後」

増井利彦（国立環境研究所）室長

⑦「環境コミュニケーションの到達点と今後」

松本安生（神奈川大学）准教授

⑧「環境安全工学の到達点と今後」

亀屋隆志（横浜国立大学）准教授

⑨「環境情報システムの到達点と今後」

山本佳世子（電気通信大学）准教授

ディスカッション：片谷教孝（桜美林大学）教授

総 括：鈴木基之（（社）環境科学会）会長

シンポジウム7 9月19日(金) B会場 9:15～12:00

「環境科学と大学の環境教育の体系化・歴史・現状・未来5」

オーガナイザー 内山弘美 (東京大学大学院工学系研究科) 協力研究員

シンポジウム8 9月19日(金) B会場 13:45～16:30

「人間活動の可視化・グローバルリスクマネジメント」

オーガナイザー 松村寛一郎 (関西学院大学総合政策学部) 准教授

代表者挨拶: 松村寛一郎 (関西学院大学総合政策学部) 准教授

講演者: ①「国際交易モデルと土地利用変化」

杉本賢二 (東京大学大学院) 博士後期課程

②「多毛作を考慮した穀物生産量の推計」

呉 文斌 (東京大学空間情報科学研究センター) 特任研究員

③「空間情報の可視化について」

李 亮源 (東京大学空間情報科学研究センター) 特任助教

④「RCPシナリオ全体の概要(社会経済シナリオのダウンスケール,
排出・土地利用シナリオ)」

山形与志樹 ((独) 国立環境研究所) 主任研究員

⑤「地球地図の今後の利用と可能性について」

柴崎亮介 (東京大学・空間情報科研七) センター長・教授

ディスカッション:

総括:

ポスターセッション(一般・優秀発表賞)

掲示可能期間： 9月18日(木) 09:15～16:00(11:00までに貼り終えてください)

ポスター発表： 9月18日(木) 12:30～14:00(発表者はポスターの前に居てください)

- P-01 イミダクロプリドのキュウリへの取り込みに及ぼすスフェロゾームの影響
○足立昌子, 白川陽子, 岡野登志夫(神戸薬大・衛生化学)
- P-02 環境保護を目的とした住民運動の階層を通じた考察
○島 和嗣(金剛高校), 大垣 旭・小松知貴(河南高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 澤田采佳(西浦高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 西野ゆり(長野高校), 小松直登(東住吉高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)
- P-03 産業廃棄物処理場より漏れ出る水の水質変化に関する考察
○大垣 旭・小松知貴(河南高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 島 和嗣(金剛高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 澤田采佳(西浦高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 西野ゆり(長野高校), 小松直登(東住吉高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)
- P-04 三重県伊賀市安定型最終処分場を巡る公害調停と科学的測定
○小松知貴・大垣 旭(河南高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 島 和嗣(金剛高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 澤田采佳(西浦高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 西野ゆり(長野高校), 小松直登(東住吉高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)
- P-05 トウゴマ発芽における亜硝酸, アンモニア, 硝酸イオンの影響
○久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 大垣 旭・小松知貴(河南高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 島 和嗣(金剛高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 澤田采佳(西浦高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 西野ゆり(長野高校), 小松直登(東住吉高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)
- P-06 2つの焼却炉を巡る住民運動の裁判における科学的立証作業に関する考察
○畠山貴博(初芝富田林高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 小松直登(東住吉高校), 澤田采佳(西浦高校), 西野ゆり(長野高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 大垣 旭・小松知貴(河南高校), 島 和嗣(金剛高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)
- P-07 環境保護を目的とする住民運動を伝える新聞報道に関する考察
○小松直登(東住吉高校), 澤田采佳(西浦高校), 西野ゆり(長野高校), 久保光平(四天王寺羽曳丘高校), 大垣 旭・小松知貴(河南高校), 島 和嗣(金剛高校), 畠山貴博(初芝富田林高校), 森田祐基(科学技術学園高校), 木村壮太郎(藤井寺高校), 林 優樹(富田林高校), 高倉弘士(立命館大・社会学), 畠山光弘(畠山獣医科)

- P-08 高校生の目から見るダイオキシンの危険性について
○木村壮太郎（藤井寺高校）、森田祐基（科学技術学園高校）、畠山貴博（初芝富田林高校）、久保光平（四天王寺羽曳丘高校）、大垣 旭・小松知貴（河南高校）、島 和嗣（金剛高校）、小松直登（東住吉高校）、澤田采佳（西浦高校）、西野ゆり（長野高校）、林 優樹（富田林高校）、高倉弘士（立命館大・社会学）、畠山光弘（畠山獣医科）
- P-09 アンケートからみる鳥インフルエンザの人への感染に関する意識
○澤田采佳（西浦高校）、西野ゆり（長野高校）、久保光平（四天王寺羽曳丘高校）、大垣 旭・小松知貴（河南高校）、島 和嗣（金剛高校）、畠山貴博（初芝富田林高校）、森田祐基（科学技術学園高校）、木村壮太郎（藤井寺高校）、小松直登（東住吉高校）、林 優樹（富田林高校）、高倉弘士（立命館大・社会学）、畠山光弘（畠山獣医科）
- P-10 リモートセンサデータによる佐鳴湖流域の総合的分析
○前田恭伸（静岡大・工・システム工）、榎坂純一（(株)数理計画）、森恒公雄（東工大・院・総合理工学）
- P-11 UV-A, UV-B 強度に対するエアロゾルの影響
○岡本啓子、中川和道（神戸大学・院・人間発達環境学）
- P-12 アジア諸都市における過去 100 年の都市温暖化の比較
片岡久美（筑波大）、松本 太（国環研）、○一ノ瀬俊明（国環研/名大）、白木洋平（地球研）
- P-13 都市における大規模緑地の暑熱緩和効果：風通しを中心として
松本 太（国環研）、岡田信行（オルト都市環境研）、○白木洋平（地球研）、一ノ瀬俊明（国環研/名大）、片岡久美（筑波大）、原田一平（千葉大・非/国環研）、半田真理子（都市緑化技術開発機構）
- P-14 低揮発性有機塩素の測定によるダイオキシン類濃度の測定
○名久井博之（電源開発(株)）、高倉晃人（大阪府立環境科学研）
- P-15 POPS ANALYSIS CAPACITY DEVELOPMENT AND MONITORING IN ASIA
○飯野福哉（国連大本部）、Zita Sebesvari, Fabrice Renaud（国連大 EHS）、Takaharu Kitsuwu（島津製作所）、Masatoshi Morita（国環研/愛媛大）、Yasuyuki Shibata（国環研）、Huang Yeru（日中友好環境保全センター）、Babu Rajendran Ramaswamy（Bharathidasan Univ.）、Halimah Syafrul（SARPEDAL）、Won Joon Shim（KORDI）、Mustafa Ali Mohd（Univ. Malaya）、Muhammad Aslam Tahir（PCRWR）、Evangeline Santiago（UP）、Monthip Sriratana Tabucanon（ERTC）、Hian Kee Lee（NUS）、Pham Hung Viet（ハノイ大）
- P-16 Physicochemical characterization of coarse/fine/ultrafine particulate matters in Shanghai Atmosphere
呂 森林（中国・上海大）、○米持真一、王 効拳、竹内庸夫（埼玉県環境科学国際センター）、姚 振坤、呉 明紅（中国・上海大）
- P-17 地域資源循環拠点の持つ環境負荷削減効果の総合的評価に関する研究
○勝原英治、松本 亨、鶴田 直（北九州市立大）

- P-18 全球レベル米需給マップの構築
○松村寛一郎（関西学院大），川野友啓（全日空空輸），Rover J. Hijmans（国際稲研），杉本賢二（東大・新領域創成科学），Wenbin Wu, Yang-won Lee, 柴崎亮介（東大・空間情報科学研究セ）
- P-19 夜間光衛星画像データの時系列解析
山下麻子，田中大輔，太田愛世，柴田智美，大倉亜弥子，藤原貴史，池田達哉，花岡由佳，柳 享佑，川端久美子，来住春奈，松田章吾，小山将平，若林悠恵，谷口昇一，吉野倫基，永長佳緒理，杉浦 望（関西学院大），川野友啓（全日空空輸），○松村寛一郎（関西学院大）
- P-20 自治体によるディーゼル車規制の経済分析
○岩田和之（上智大学／日本学術振興会）
- P-21 農薬散布時の急性・亜急性・亜慢性毒性を考慮した健康リスク評価方法の検討
○荻戸翔一，河原賢吾（横浜国大・院・環境情報），小林 剛，三宅祐一（横浜国大・安心センター），亀屋隆志（横浜国大・院・環境情報）
- P-22 大気中六価クロムの測定と健康リスクの評価事例
○柳 一生（横浜国大・院・環境情報），小林 剛，三宅祐一（横浜国大・安心センター），亀屋隆志（横浜国大・院・環境情報）
- P-23 東京都心部に地下水散水を行った場合の気温低減効果
○白木洋平（地球研），平野勇二郎（群馬大），一ノ瀬俊明（国環研／名大），松本 太（国環研），滝沢 智（東大）